

第 12 回(平成 20 年度第 2 回) ISO/SR 幹事会 議事録

1. 開催日時 : 平成 20 年 7 月 3 日 (木) 10:00~12:00

2. 開催場所 : 弘済会館 4 階会議室「桜」

3. 出席者 : 【敬称略・五十音順】 出席者(○)、欠席者(×)

委員: 松本 恒雄(一橋大大学院)○、足達 英一郎(日本総合研究所)○、稲岡 稔(セブン&アイ・ホールディングス)○、青木 健(連合・逢見委員代理)△、吉野 貴雄(連合・大久保委員代理)△、長見 万里野(消費者協会)○、熊谷 謙一(連合)○、黒田 かをり(CSO ネットワーク)○、斎藤 仁(経団連)○、佐野 真理子(主婦連合会)○、下澤 嶽(JANIC)○、関 正雄(損保ジャパン)○、富田 秀実(ソニー)○、深田 静夫(経団連/オムロン)○、福田 泰和(経済省)○、矢野 友三郎(NITE)○

関係者: 濱坂 隆(経産省)○、宮澤 武明(経産省)○

オブザーバー: 伊藤 知彦(東商)○

事務局: 岡本 裕○、佐藤 恭子○、櫻井 三穂子○(以上 JSA 記)

4. 議事次第: 省略(議事次第参照)

5. 配布資料: 省略(議事次第参照)

6. 議事概要:

6. 1 議事、資料及び前回の議事録の確認

事務局から、議事及び資料の確認が行われた。議事次第案は異議無く了承された。

また、幹事会規約第 7 条 2 項の成立条件に照らして、今回の幹事会がその条件を満たすことを報告し、確認した。

幹事会規約第 9 条の 2 項に従い東京商工会議所の伊藤氏のオブザーバー参加を認めることが承認された。

6. 2 国内委員会の議題の確認

資料 WG I-11-2 及び WG I-11-3 にしたがって、事務局から次回の国内委員会 (7 月 8 日

開催)の議題について確認を行った。議題案について委員から議題の追加提案はなかった。

6. 3 WD4.2 国内委員会コメント案の検討・作成

検討に先だって、事務局から、WD4.2の国内委員会コメント検討にあたっては、試験的に国内委員会規約3の「CD コメント・投票の提出の手続きに関する細則」に定めたプロセスに従って行うこと(幹事会では原則として各ステークホルダーから国内委員会コメント候補案として提出されたコメントを検討すること)が再確認された。

その上で、NGOより国内委員会コメント候補案として提出された資料WG I-11-4のNGOコメント及び資料WG I-11-6のうち産業界から幹事会での検討の依頼のあった東京商工会議所(以下、東商)のコメントを優先的に検討することが確認された。

<決定事項>

(1) NGO コメント (WG I-11-4) の取扱い:

NGOが持ち帰り、次の3つの項目について、幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8の国内委員会で検討する。

- 人権と社会的責任と原則、政府の役割
- 環境
- コミュニティ (コミュニティの定義についても検討)

(2) 東商コメント (WG I-11-6) の取扱い:

東商が持ち帰り、コメント#1, 3, 29, 32, 37, 40のコメントを幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8国内委員会で検討する。

(3) その他:

次を国内委員会コメント案とし、7/8の国内委員会で検討する。

- 規格開発のスピード (サンチャゴではCDを目指す) 【G1】
- 7章コミュニケーション 【古谷委員#43,45、G7】
- サプライチェーン、バリューチェーン 【東商#7,8、L】

<主な意見>

(1) NGO コメント (WG I-11-4) について

- ① コミュニティ参画を Social Development とすることについて:

- ・ コミュニティ参画という考え方は残した方がいい。ただし、これを（社会）発展と同列に並べるのはロジカルではないので、この2つの関係を整理することが必要。
- ・ 社会開発という言葉は中小企業にとって距離を感じさせるのではないか。
- ・ グローバル社会の問題はコミュニティという言葉の中では包括しきれない。コミュニティとすることによって小さな問題と捉えられてしまうことを懸念する。限定的な意味に捉われることによって、経済活動を行っている場所だけで行えばよいということにならないようにする責任があるのではないか。
- ・ 組織にアクションを促すように書くことが重要であり、自分たちから遠い問題と思わせないためにも、インボルブメントという言葉は残すべき。タイトルに残すのかということは検討が必要であろうが、重要な概念であり、存続させるべき。
- ・ インボルブメントを残すかどうかはサンチャゴの議論の焦点となるだろう。議論の方向は矛盾していないとは思いますが、「社会開発」に変えることに説得力があるかは不安。

② 人権（特に政府の役割への言及）について：

- ・ 最終的な責任は国家にあるということを記した上で組織の役割を記述することが必要。
- ・ 非政府の軍事、警察組織の記述は、途上国の提案によるもの。
- ・ 最初から最後までの流れをどうするかということの議論が進まないところだけでは議論できない。
- ・ 人権の問題は重い問題。国家による人権侵害に対して、国際的なコミュニティが何もできないという状況がある。
- ・ それぞれの項目で政府機関が言及された時に、3.4と矛盾しないことが重要。
- ・ 国家の責任と組織については、6.3.2.2にラギーレポートを踏まえて的確に書かれているので、屋上屋を重ねる必要はない。

③ 環境について

次の理由から国内委員会コメントとして採用しないこととし、NGO内で再度検討しコメントするかを決定することとした。

- ・ 規格が発行されるのは2010年であり、その時には既に京都プロトコルの議論は終わっていることが予測されるため、これを入れることには意味がないのではないか。
- ・ 青木委員のコメントについては、既にWD4.2の環境の項目で記述されている。

(2) 東商コメント（WG I-11-4）について

- ・ 国内委員会に向けてポイントを絞って精査することは可能か？IDTFのメンバーを絞

って、特定の人物が原案を確認するのは難しい。IDTF を評価するような事項も含めて、優先準備を付けて書けば、国内委員会でも賛同できるのではないかな。

- IDTF のメンバーに全体感を考慮した視野をもって通して見てもらえると、更に良くなるのではないかな。IDTF によって各章間のまとまりは出来てきたと思っはいるが、CD を想定した場合には、改善の度合いが遅いのではないかな。ポイントを絞って5, 6 点に絞って出せるのではないかなというのであれば、作業したい。
- IDTF が残るかどうかわからない中で、具体的なコメントは出せないのではないかな。
- 一般論的に長すぎるといふコメントは難しい。中小企業が実践するといふ観点でレビューするといふプロセスを IDTF の中で提案してみてもどうか。
- コメント#32、37 の主旨は大切だが、踏み込みが足りない。具体的な書き振りにするといふより明確なコメントになるのではないかな。
- 中小企業のみならず、大企業の担当者にとっても、WD4.2 の内容はまだ分かりにくい。
- ボリュームの点では、原案を一人で見るといいとは限らないといふことはこれまで経験済み。具体的に重複しているところを細かく指摘し、改善案を提案すれば受け入れられる。
- IDTF が機能した良い例は、Readability の向上、行き詰っていた課題について進化した議論が行われたことなど。一方で、問題なのは7章。7章に対しては具体的な改善策を提案することが重要。
- 文章の分量を増やさない形での前向きなコメントをお願いしたい。英語的には Plain English になってきているので、むしろ日本語訳を工夫して欲しい。

(3) 政府コメント (WG I-12-5) について

① 政府コメント#G1

- サンチャゴで CD を目指すことを国内委員会の基本ポジションとしてはどうか。
- 現地の各ステークホルダーの会議の中でも、各エキスパートが CD にすることを主張することが望まれる。
- 原案作成プロセスを加速化することを提案できないか。
→プロセスの加速化は不可能ではないが、現実的にはかなり難しいだろう。
- ISO に3年ルールがあるのであれば、そのための TMB からのメッセージを送ること又は ISO による指導などを行うべきなのではないかな。
- CD 化について日本としては受け入れられるが、国際的には異論が出るかもしれない。

② 政府コメント#G2

- ・ 6章は有用ではあるが、厚すぎるので、附属書に持っていったら読みやすくなるのではないか。
- ・ 附属書に持っていくことを提案することによって、具体的なコメントが言いづらくなることを懸念する。
- ・ 必ずしも6章をすべて読んで理解しないと7章に進めないということではないということを経験の使い方として記したらどうか。使いづらければ、次の改訂で考えればいいのではないか。
- ・ CDになってからでも修正できるという気持ちを持たなければならない。6章は書き振りが違うところがあるが、議論にはきりが無い。現在あるものを尊重してCDに行くしかないのではないか。

(4) その他

① 古谷委員コメント#26、政府コメント#G6

- ・ 弱い人達を配慮すべく「脆弱な」という言葉は残しておきたい。
- ・ 消費者は情報や交渉力などの面で組織より劣っているということを消費者の定義のところに入れることなどを検討したい。

② 古谷委員コメント#43,45、政府コメント#G7

- ・ コミュニケーションに関するコメントは、国内委員会コメントにできるのではないか。

③ 東商コメント#7,8、労働コメント

- ・ サプライチェーン及びバリューチェーンの用語の定義に関するコメントは、国内委員会コメントにできるのではないか。

6. 4 今後のスケジュールの確認

次回は8月21日(木)10:00~12:00に拡大幹事会として開催することが再確認された。

以上

Template for comments and secretariat observations

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N1 下澤	3.4	440	Te	L440 「ただし、この国際規格は、公共政策に・・・」だが、W.D.4.2には、政府機関に関係する条項が含まれている。例えば、6.3.5.2f)の警察に関する定めである。日本の NGO/NPO はこうした定めを置くこと及びそれを政府機関に適用することに賛成である。従って、3.4.を提案のように修正することによって、解釈の混乱を防ぐことができる。	「ただし、この国際規格は、この国際規格の中に政府機関に関して特別の定めのある条項を除き、公共政策に」	NGO が持ち帰り、次の3つの項目について、幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8の国内委員会で検討する。 <ul style="list-style-type: none"> 人権と社会的責任と原則、政府の役割 環境 コミュニティ
N2 下澤	6.3				1. 6.3の構成を以下のように変更。 原則 Principles 考慮点 Considerations デュー・ディリジェンス Due diligence 市民的、政治的権利 Civil and political rights 経済的、社会的、文化的権利 Economic, social and cultural rights 差別・社会的弱者 Discrimination and vulnerable groups 人権リスク状況 Human rights risk situations 人権侵害への関与の回避 Avoidance of complicity 不服申立て・公益通報手続き Resolving grievance 基本的な労働（者）の権利 Fundamental rights at work	N57 まで以下同様 議事録の P3~4 参照。
N3 下澤	6.3.1.1 BOX	923-949	Te	L923-949 Box 1 は、人権条約、条約機関、基準の構造をメカニズムとして記述する。	Box 1 The International Bill of Human Rights and the Core Human Rights Instruments The Universal Declaration of Human Rights (UDHR) [3] is a non-binding declaration adopted by the UN General Assembly in 1948, and the most widely recognised human rights instrument. It provides the	

1 MB = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 Type of comment: ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					<p>base for human rights law and elements of it have become part of international customary law. Recognising both the universal nature of the rights, and that their realisation requires the involvement of all, the Declaration calls on “all organs of society” to contribute to securing the rights contained in the Declaration. The UDHR together with the subsequent international conventions spelling out in more detail the content of the rights contained in the UDHR, rests on the founding principle of the inherent dignity of all members of the human family. The covenant on Civil and Political Rights and the covenant on Economic, Social and Cultural Rights are treaties adopted by the General Assembly in 1966 and thereafter ratified by individual states. The International Bill of Human Rights consists of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ The Universal Declaration on Human Rights ■ The Covenant on Civil and Political Rights ■ The covenant on Economic, Social and Cultural Rights, ■ The optional protocols to the covenant of Civil and Political rights: the first optional protocol enables the human rights committee, set up under that covenant, to receive and consider communications from individuals claiming to be victims of violations of any of the rights set forth in the covenant [6] and the second optional protocol aims at the abolition of the death penalty <p>In addition to the Bill of Human Rights, there are nine Core International Human Rights Instruments that also form part of international human rights law:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ International Convention on the Elimination of 	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					<p>All Forms of Racial Discrimination; monitored by the Committee on the Elimination of Racial Discrimination (CERD)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ International Covenant on Civil and Political Rights; monitored by the Committee on Civil and Political Rights (CCPR) ■ International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights; monitored by The Committee on Economic, Social and Cultural Rights (CESCR) ■ International Convention on the Elimination of All Forms of discrimination against Woman; monitored by Committee on the Elimination of Discrimination Against Women (CEDAW) ■ Convention against Torture and Other Cruel, Inhuman or Degrading Treatment of Punishment; monitored by The Committee Against Torture (CAT) ■ Convention on the Rights of the Child; monitored by The Committee on the Rights of the Child (CRC) ■ International Convention on the Protection of the Rights of All Migrant Workers and Members of Their Families; monitored by The Committee on the Protection of the Rights of All Migrant Workers and Members of Their Families (CMW) ■ International Convention for The Protection of All Persons from Enforced Disappearance ■ Convention on the Rights of Persons with Disabilities <p>Taken together these instruments form the basis for international standards for universal human rights. Some instruments allow for individual complaints to be lodged, subject to procedural rules outlined in optional protocols.</p>	
N4 下澤	6.3.1.2		Te	L952 この文章は、的確な表現になっていないので修正が必要	「人権とは、人間の生存に不可欠の権利であり、それを保障すべき義務、責任は究極的には国家にある。そして、あらゆる社会組織もまた、それに応じて、応分の社会的責任を負う。」	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N5 下澤	6.3.2.1	962	Te	'Human rights are inherent, inalienable, universal, indivisible and Interdependent' 権利の不可分性、人権の固有性、普遍性、人権が擁護されていない場合の回復の必要性などについてわかりやすい説明が必要。	<p>人権は、固有で、不可侵で、普遍的で、不可分で、相互依存性があると考えられる。</p> <p>－人権は、人間である限り、当たり前有するものであり、何人にも侵されるものではない。</p> <p>－自由権や社会権は分けることはできず、相互に依存し合うものである。</p> <p>－しかし、現実の世界ではそうはなっていない。現実の世界では、権利を持つ権利を奪われている人たちがいる。</p> <p>－権利を持つ権利を奪われた人びとの人権を回復しなければならない。その義務を負っているのは国家、政府である。</p>	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N6 下澤	6.3.3.2			Due diligence: 経営方針への組み入れ、監視体制の構築の必要性などについても触れたほうがよい。	<p>Include, in a due diligence for it to be reliable, the following components;</p> <ul style="list-style-type: none"> a) a human rights policy for the organization that gives meaningful guidance to those within the organization and those significantly linked to the organization; b) means of assessing and monitoring how existing and proposed activities may affect human rights, which is appropriate to the types and location of activities; c) means of integrating the human rights policy throughout the management of the organization; and d) means of tracking performance over time, to be able to make necessary adjustments in priorities and approach. 	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N7 下澤	6.3.4.2			人権リスク状況において組織が何をすべきかを書き込む。	<p>6.3.4.2 Related actions and/or expectations</p> <p>Organizations should take specific care, or should not engage in or support certain situations, when dealing with them, that are characterized by:</p> <ul style="list-style-type: none"> — a need to conflict [19] or extreme political instability, or situations of poverty, drought or natural disasters; — involvement in extractive activities or other activities that might significantly affect natural resources such as water, forests or the atmosphere and often disrupt communities; — proximity of operations to communities of indigenous peoples [20, 21]; — activities that can affect or involve children [10, 11, 12]; — a culture of corruption; — complex supply chains that involve work performed on an informal basis without legal protection; and — a need for extensive measures to ensure security of premises or other assets. 	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N8 下澤	6.3.5.1 の a)	1059	Te	L1059 組合員が、支配者が国民に対して使用することになっている積み荷の武器の積み下ろしを拒んだ労働組合の例について、こうした、共謀していないことを確実にするための措置をとった組織及びその成員について、国家は不処罰とすべきであると明記すべきである。社会的責任に忠実であることが、法的責任を問われることにつながるの是不合理であるため。	組合員が、支配者が国民に対して使用することになっている積み荷の武器の積み下ろしを拒んだ労働組合の例について、「こうした、共謀していないことを確実にするための措置をとった組織及びその成員について、国家は不処罰とすべきである」旨の文章を最後に加える。	
N9 下澤	6.3.6			差別・社会的弱者（女性、子ども、刑事司法、少数者＋HIV/AIDS、LGBT）は、特に配慮が必要な領域。社会的弱者とは「権利を持つ権利を奪われた人びと」である。ここでは、国際法で定められている国際基準や条約を列挙し、それを守る必要性を記してはどうか。HIV/AIDS 感染者の権利のように、まだ国際基準になっていないものに関しては、宣言を載せる。	<p>a) An organization should take care to ensure that it does not discriminate against anyone on any unjustified grounds. This includes employees, business partners, customers, stakeholders, members and anyone, which the organization has any contact with or impact on.</p> <p>b) Groups that have suffered persistent discrimination, leading to entrenched disadvantages, are more vulnerable to further discrimination, and their human rights should be the focus of additional attention in terms of protection by the state and respect by organizations. Vulnerable groups include the following, but there may be others in an organization's particular community of operation.</p> <p>c) An organization should respect The International Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women [8]. Although women comprise half of the world population, they are almost universally denied access to resources and opportunities on equal terms with men.</p>	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					<p>Women have the right to non-discrimination in education, employment and economic and social activities as well as the right to decide on marriage, family matters and right to make decisions over their own reproductive health. An organization's policies and activities should respect women's rights and promote the equal treatment of women and men in the economic, social and political spheres.</p> <p>d) An organization should respect The Convention on the Rights of Persons with Disabilities [18]. People with disabilities are often vulnerable, in part because of misperceptions about their skills and abilities. An organization should contribute to ensuring that men and women with disabilities are accorded dignity, autonomy and full participation in society.</p> <p>e) An organization should respect The Convention on the Rights of the Child [10], The Optional Protocol to the Convention on the Rights of the Child on the involvement of children in armed conflict [11], and The Optional Protocol to the Convention on the Rights of the Child on the sale of children, child prostitution and child pornography [12]. Children are vulnerable because of their dependent status. All actions with effect or potential effect on children should give primary consideration to the best interests of the child. The principles from the Convention on the Rights of the Child, which include</p>	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					<p>non-discrimination, a child’s right to life, survival, development and free expression, should always be respected and taken into account.</p> <p>f) An organization should respect The United Nations Declaration on the Rights of Indigenous Peoples [20] and The Indigenous and Tribal Peoples Convention [21]. Indigenous rights are collective rights granted to enable indigenous peoples to continue their distinct traditional lifestyles. Indigenous rights are established to support indigenous peoples’ self-determination and their freedom to make decisions on issues such as management of land that they traditionally occupy, resources, education, judicial and law enforcement. Organizations should respect applicable indigenous rights when carrying out activities within a country and ensure that proper consideration, respect and consultation is carried out to respect the rights.</p> <p>g) An organization should respect The International Convention on the Protection of the Rights of All Migrant Workers and Members of Their Families [13], The Migration for Employment Convention [14], The Migrant Workers Convention [15] and The Migrant Workers Recommendation [16]. Migrants and migrant workers and their families are also a vulnerable group. Organizations should contribute to promoting a climate of respect for the human rights of</p>	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					migrant workers and their families. h) An organization should respect the Declaration of Commitment on I[HIV/AIDS [25] and The ILO Code of practice on HIV/AIDS and the world or work.	
N10 下澤	6.3.6.2 の g)	1135	Te	L1135 移民及び出稼ぎ労働者の人権保護は、国家による法的排除が存在する場合、全く困難となる。	「国家は、できる限り早く、移民に対して、法的に社会の正式なメンバーシップ・ステータスを与えるべきである。国家は、出稼ぎ労働者に対して、在留及び就労、保険制度への加入を含めた医療享受の権利を付与すべきである。」という一文を最後に付加する。	
N11 青木	6.5.4.1	1735	Te	L1735 の「・・・基本的人権である。」の後に、「とくに近年における気候変動の激化や、急速な経済発展などに伴い、多くの発展途上国においては、水量および水質の保全が喫緊の課題となっている。」を挿入する。	(挿入部分英語仮訳案) Especially, with very rapid climate changes in recent years and with fast economic growth in developing countries, the conservation of water, both in quantity and in quality, became much more important as well as more urgent issue among them.	
N12 青木	6.5.5.2.1	1789	Te	L1789 「適切な排出量取引の機会を検討する」の後に、「とともに、ポスト京都についてすべての国と地域が参加できる枠組みの構築を支援する」を挿入する。	(挿入部分英語仮訳案) and encourage a new idea for the Post Kyoto framework where every country and region will be able to join.	
N13 下澤	6.8	2299	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」または「人間中心の発展」に変更すべきである。これは、組織が意識すべき課題は、空間的ニュアンスのつよい「コミュニティ」といった発想だけで捉えられず、グローバル社会全体から見た課題、複合的・非空間的社会的課題を扱う必要があるか	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	

1 MB = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 Type of comment: ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
				らである。		
N14 下澤	6.8.1	2300	Te	コミュニティ参画及び発展の概要	社会開発の概要	
N15 下澤	6.8.1.1	2301	Te	組織とコミュニティ参画及び発展	組織と社会開発	
N16 下澤	6.8.1.1	2301–2306	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」または「人間中心の発展」に変更すべき。	〔代案〕この項では、グローバル経済の拡大にともなう多様な変化に対して、適正で人間的な社会発展に寄与するための課題を取り扱う。ここでは社会開発 (Social Development) という概念を基本に、経済的、社会的、文化的、政治的および環境的側面に注意を払った、人間を中心とした発展を促進することを取り扱う。	
N17 下澤	6.8.1.1	2307–2312	Te	ここでは地理的、空間的なコミュニティに限定された文章なので、削除する。		
N18 下澤	6.8.1.1	2313–2318	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	〔代案〕組織が多様な社会との間に確立する関係は、社会開発の貢献に影響を与える。貧困の軽減および人間中心の発展を促す必要性は、普遍的に受け入れられており、これは国連ミレニアム宣言に反映されている (ボックス 5 参照)。発展は公共政策によって指導及び推進されるが、すべての民間の組織も発展プロセスに貢献する必要がある。	
N19 下澤	6.8.1.1	2319–2324	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	〔代案〕ここでいう発展とは、人間を中心とした発展を中心概念とし、教育、文化、ジェンダー、健康、平等な社会参加や経済活動への機会等の向上を指す。発展は、人間の社会的ニーズをより良く満たすための経済活動の増大や多様化を包含するものであるが、貧困を削減し、社会全体の利益となるためには、経済成長のアウトプットがバランスよく分配されることも必要である。発展を促	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					す要素として、健康、教育、民主主義制度及び法の支配といったものがあり、これらは発展に深く関係している。	
N20 下澤	6.8.1.2	2326–2333	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	〔代案〕 活発な市民社会とそれに関する諸制度は、社会をより持続可能にする。組織は、市民社会組織 (Civil Society Organization) への参加を通じて、特にこうしたCSOが共通の目的及び公共の利益に貢献する場合、市民社会を強化することに貢献することになる。組織はまた、民主主義の制度に敬意を払った方法で関わることで、市民社会を強化できる。これは、組織の活動の影響を受けるステークホルダーを特定及び関与させる以上の効果がある。	
N21 下澤	6.8.1.2	2334–2336	Te	組織の大きさで関係する活動が制約されることは本来的でないので、この部分は削除する。	削除	
N22 下澤	6.8.1.2	2337–2347	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」または「人間中心の発展」に変更すべき。	〔代案〕 持続可能な社会の発展は、社会的、経済的、環境的及び政治的側面のバランスを必要とする。発展は、貧困を削減しより高い人間的生活の質を達成するための前提条件である。社会的および経済的発展の主な責任は政府にあるが、すべての組織は発展プロセスに貢献する責任を負う。	
N23 下澤	6.8.1.3	2349–2357	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	〔代案〕 すべての組織は、自らが活動する社会の持続可能性における長期的利益を認識することが望ましい。社会開発への参画は、社会正義の重要な要素であると同時に、重要な要素でもある公共の利益並びに市民社会及び制度の強化に貢献する。効果的な社会開発への参画は、社会の質の向上だけでなく、組織が目的を達成する能力の両方を高めることができる。中でもとりわけ、組織の社会開発への参画は、組織の評判及び従業員の士	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					気により影響を与える。	
N24 下澤	6.8.1.3	2358–2362	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	〔代案〕社会開発の発展に貢献することにより、組織は、その結果として起こる、これに伴うより大きな経済的発展及び人々の教育水準及び福祉の向上と関連する個人及び組織にとっての機会の増大から利益を受ける。これは、評判を高め、従業員の士気を高め、リスク及び機会のマネジメントを向上させることができる。	
N25 下澤	6.8.2.1	2366	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ及び社会」→「社会開発」	
N26 下澤	6.8.2.1	2373	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ及び開発課題」→「社会開発」	
N27 下澤	6.8.2.2	2401	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	
N28 下澤	6.8.2.2	2403	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「自身のコミュニティ生活において」→「あらゆる社会における」	
N29 下澤	6.8.3	2411	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展の課題」→「社会開発」 「1 コミュニティ参画」→「1 社会開発」	
N30 下澤	6.8.3.1	2413と 2417	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「社会開発」	
N31 下澤	6.8.3.1	2425 2429	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	2425、2429「コミュニティ」→「社会」	
N32 下澤	6.8.3.1	2434	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「社会」	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N33 下澤	6.8.3.2	2438	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「社会」	
N34 下澤	6.8.3.2	2437	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「地域団体に参加する。」→「市民社会団体 (Civil Society Organization) に協力する。」	
N35 下澤	6.8.3.2	2446	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「地域団体に参加する。」→「市民社会団体 (Civil Society Organization) に協力する。」	
N36 下澤	6.8.4	2449	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	
N37 下澤	6.8.4.1	2452	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ生活の社会的側面」→「社会開発」	
N38 下澤	6.8.4.1	2453	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティの発展」→「社会開発」	
N39 下澤	6.8.4.1	2456	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「社会開発」	
N40 下澤	6.8.4.1	2459	Te	「コミュニティの集団的能力の増大は組織のみならず個人にも依存する。」は、やや意味不明なのと、重要ではないと思うので、トル。		
N41 下澤	6.8.4.2	2466	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ及び複数のコミュニティ」→「社会開発が十分進んでいない場」	
N42 下澤	6.8.4.2	2473	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「関与する社会」	
N43 下澤	6.8.4.2	2474–2476	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「関与する社会構成員」 「コミュニティ参画」→「関与する社会構成員の参加」	
N44 下澤	6.8.4.2	2477	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティの発展」→「社会開発」	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N45 下澤	6.8.4.2	2481	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「社会開発」	
N46 下澤	6.8.4.2	2485	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ関連イニシアチブ」→「社会開発へのイニシアチブ」	
N47 下澤	6.8.5	2487	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	
N48 下澤	6.8.6	2502	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	
N49 下澤	6.8.6.1	2506	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「活動するコミュニティ」→「活動する社会」	
N50 下澤	6.8.6.2	2509	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「関与する社会」	
N51 下澤	6.8.6.2	2512	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「地域コミュニティ」→「関与する社会」	
N52 下澤	6.8.7	2517	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	
N53 下澤	6.8.7.1	2527	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティの当局に対し」→「社会開発の重要な要素」	
N54 下澤	6.8.7.2	2539	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ」→「社会」	
N55 下澤	6.8.8	2562	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	
N56 下澤	6.8.9	2580	Te	「コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	「コミュニティ参画及び発展」→「社会開発」	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
N57 下澤	6.8.9.1	2583 2585 2586 2587	Te	コミュニティ参画」という考え方から「社会開発 (Social Development)」に変更すべき。	2583 「コミュニティ」 → 「社会」 2585 「コミュニティ」 → 「社会開発」 2586 「コミュニティ」 → 「社会」 2587 「コミュニティ」 → 「社会」	

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date:	Document: WG SR N 143,	2008年7月3日 第12回 ISO/SR 幹事会 WG I -12-5
-------	-------------------------------	--

1	2	(3)	4	5	(6)	
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted

G1 矢野	全体		ge	規格開発 Speed への配慮 ISO26000 の TMB 提案 (2001.4) から 7 年、NWIP の可決 (2004.1) から 4 年が既に経過している。社会の関心の高いテーマであり、時期を得た国際規格化が重要である。	サンチャゴ総会では、CD になるべく議長団の強いマネジメントを期待するとともに、エキスパート間での早期のコンセンサスを求める。	国内委員会コメント案として採用
G2 矢野	全体		ge	Readerability への配慮 ISO26000 のユーザーは、先進国から途上国まで、また数多くのステイクホルダーが対象となるため、一般の人が SR の概要が理解できるレベルのものを目指すことが重要である。現在の 80 頁の規格では大部すぎる。	第 6 章は基本項目に留め、全体を附属書に移す。これにより規格文書の適切な長さが担保できる。	国内委員会コメント案として採用せず
G3 矢野	全体		ge	中小企業への配慮 規定内容は、できる限り多くの組織に理解を得やすいようにするため、簡潔で平易なものとする。	規定内容の理解度を上げるために、文書だけでなく箇条書きにする工夫などをして、ポイントを絞り込む。また、規定内容の一貫性と併せて英語圏でないユーザーに配慮して表現振り（明確で、短く、かつ、適切な言い回し）を見直す。	国内委員会コメント案として採用せず
G4 矢野	3.4	435~	te	政府と社会的責任 政府もステイクホルダーの一人であり、項目として特出しする意味はない。	3.3.3 (社会的責任とステイクホルダーの役割) の中で記述すべきである。	国内委員会コメント案として採用せず
G5 矢野	5	604-	te	第 4 章と第 5 章との統合 第 5 章のステイクホルダーエンゲージメントは、SR の中核をなすものであるが、第 4 章の原則の中で規定したほうが実用的な規格を目指すには分かりやすい。また、分離して規定する付加価値はない。	第 5 章を、第 4 章と統合し整理し直す。	国内委員会コメント案として採用せず
G6	6.7.2.2	2041~	te	脆弱な消費者		国内委員会コメント案として採用せず

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
矢野				「脆弱 (vulnerably)」な消費者という表記は、消費者を限定する恐れがあり、消費者の問題が誤解される。	「脆弱」を削除。	
G7 矢野	7.5.3	2956～	te	コミュニケーション コミュニケーションの手法を企業に焦点を絞りすぎた結果、報告書に偏りすぎている。コミュニケーションには、ウェブサイト、ラベルなどさまざまな方法があり、報告書に限定された情報伝達のみと誤解を受けやすい。	WD4.1 の内容が網羅的で理解し実践しやすいので変更する。 8.5.1 コミュニケーションの特定 8.5.2 コミュニケーションの計画 8.5.3 コミュニケーションの種類と形式の選択 8.5.4 信頼性の向上	国内委員会コメント案として採用
G8 矢野	7.6.2	3033～	te	信頼性 規格の実効性をもたせるには、ステイクホルダーからの信頼性確保が不可欠である。このためには、きちりとした内容で客観的なものがあれば十分で、報告書に限定された記述は限定的である。	WD4.1 の内容が網羅的で理解し実践しやすいので変更する。例えば、ステイクホルダーエンゲージメント、双方向コミュニケーションなど、また、必要に応じて外部からの客観的な証を得ることで信頼を獲得する等。	国内委員会コメント案として採用せず

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date:	Document: WG SR N 143,	2008年7月3日 第12回 ISO/SR 幹事会 WG I -12-6
-------	-------------------------------	--

1	2	(3)	4	5	(6)	
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted

1 東商	全体		ge	<p>WD 3に比較し、各章間の記載レベルのばらつき、一貫性などで改善されている部分も見受けられる。(WD4.1はそれなりの改善が見られたが、WD4.2では後退した印象がある。)</p> <p>しかし、依然として、各節レベルでは、執筆者の文章力の力量により、論理的でなく、何を言いたいかわからない、冗長なところも散見される。そのため、まだ一つの規格文書としてのまとまりもなく、国際規格のレベルに達するには、相当なレベルアップが必要で、執筆者間での十分な意見調整、各章だけでなく各節までの細部にわたり書くべき内容の整理、論旨の決定、理論的な文脈展開を検討しなおす必要がある。</p> <p>また、用語の定義が統一されないまま使用されている部分もあり、規格全体を通した一貫性のある語句の利用となるよう十分な検討が必要である。</p> <p>さらに、この規格の使用者となるべき組織の大半を占めるSMOに対する配慮がまだ不十分と思われ、量の問題、内容のわかりやすさ（抽象的で意味が不明、具体的な事象を踏まえていない机上の空論的な内容で、表現も難しい部分が散見される）、において考慮が必要と思われる。</p>	<p>IDTF議長か編集委員会のトップなどの責任者がガイダンス全体を通して、熟読し、一貫性、記載レベル、まとまりを一人でチェックすべき。</p> <p>その際には、執筆者の力量による記載内容のレベルのアンバランス、用語の定義等の不統一について改善を図るためにも、分担してチェックするのではなく、少人数（数名）による規格全部を一貫してチェックを行い、その上での修正案を検討するなどのやり方が必要ではないと思われる。</p> <p>量の問題については特に6章をはじめ、大幅な削減が必要であり、ヘルプボックス、個別内容等については解説書等へ移行する、重複をなくす等によりかなりの圧縮が望まれる。</p> <p>また、表現についても執筆者間で難易度に差があり、編集委員会等での全体を通して調整を行うことが不可欠であり、その中で、表現方法については、できる限り多くの組織に負担なく理解を得るために、簡潔、平易な表現を用いるようにすべきである。(特に、人的資源が乏しく、時間的にも余裕がない中小組織においては、書いてあることの解釈についていちいち調べたり、何人かで検討して決めるといった手順を踏むことは不可能であり、一般的な人が、一通り読んでSRについての概要が理解できるレベルのものを目指すべきである。)</p>	<p>東商が持ち帰り、コメント #1, 3, 29, 32, 37, 40 のコメントを幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8国内委員会で検討する。</p>
2 東商	全体		ge	<p>各節ごとの文章について、文脈上のつながりもなく、とりあえずその節に関連する内容の文章を執筆者の思いっくまま羅列しているだけといった状況にあり、大変読みづらい。読み手のことを考えた、理解しやすい構成、文脈が整った文章となるよう検討し直すべきである。(上</p>	<p>各章の中に何を織り込むのか(各章だけでなく、各節のレベルまでどういう内容のことを書き込むのか)、どういう順序で説明し、理解させるか、といった文章を作成する際のごく基本的なところから詳細を検討し、見なおすべきである。</p>	<p>東商が持ち帰り、コメント #1, 3, 29, 32, 37, 40 のコメントを幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再度整理す</p>

1 MB = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 Type of comment: ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
				記にも書いたとおり、執筆者の文章力の欠落、記載すべき内容についての整理のための事前検討の欠如が感じられる。)	また、各章ごとに、ポイントや留意点、考え方等を記載する場合で、いくつかの観点を並列的に記載する必要があり、ひとまとまりの文章として表現しにくい部分があれば、箇条書きに簡潔に書くべきである。(箇条書き形式で書ける箇所は、できる限り箇条書きとし、理解すべきポイントを絞り込んだ文章とすべきである。)	る。7/8 国内委員会で検討する。
3 東商	1	184-185	ge	この規格の性格を示す内容で、適合性評価、認証を意図しないものであることを記載されているが、それだけでなく組織の多様性に応じて、自主的に取り組むべきものであることを、明示した方がよいのではないか。	Line 185 の後ろに、「組織の多様性に応じて、選択的、かつ自主的に取り組むものである」旨一文を追加する。	東商が持ち帰り、コメント #1, 3, 29, 32, 37, 40 のコメントを幹事会での議論を踏まえて 7/7 までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8 国内委員会で検討する。
4 東商	2.5	209	ge	用語の定義として不適切であり、見直しが必要。	倫理という以上、普遍的に認められ、従うべき行動であり、「in the context of a particular situation」という限定的な文言は誤解を招きやすいので、削除する。	
5 東商	2.17	257-269	ge	「SR」については、この規格全体を通して内容を説明し、実践の方法等をガイダンスしているものであることから、定義を行う用語としては相応しくない。(定義で簡単に述べられるものではない。)	2. 17 及び 2. 18 を削除する。	国内委員会コメント案として採用せず
6 東商	2.21	277-281	ge	「ステークホルダーエンゲージメント」は定義で簡潔に書けるものではなく、第 5 章で詳細に書くべきである。 (少なくとも、SH との対話の機会を作り出すための活動ではなく、広く「協働」していくことを含むはずであり、現状の解説では不足している。)	削除するか、第 5 章を参照する旨記載する。	国内委員会コメント案として採用せず
7 東商	2.22	282-287	ge	「サプライチェーン」の用語の定義が不適切。	内容の見直し。 少なくとも Line285 の「before・・・」以降は誤	国内委員会コメント案として採用

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					解を招くので削除する。	
8 東商	2.25	301-307	ge	「バリューチェーン」の用語の定義が不適切。	内容の見直し。 少なくとも Line304 の「before・・・」以降は誤解を招くので削除する。	国内委員会コメント案として採用
9 東商	3	全体	ge	この章は、社会的責任を履行しなければならなくなった歴史的背景や現状を説明し、何が期待されるのかの方向性を示すことで、社会的責任に対する重要性の認識を持たせ、インセンティブを与えることが主なものだと考えられる。しかし、現状のこの章は学術的な用語が多用され、文脈のつながりが乏しく、とても読み手にSRの実行のインセンティブを与えるものとなっていないため、わかりやすく、読みやすいものへの大幅な書き換えを検討すべきである。(SRの専門家でない、一般の人にとっては、何のためにこの章が書かれ、その伝えたい趣旨が何なのかを把握できるものとなっていない。上記のこの章を書く趣旨をわかりやすく簡潔にまとめ直す必要がある。)	左記の趣旨に従って、わかりやすく読みやすい、簡潔かつ一つの章としてまとまりのある文章に見直す。 特に、3.3.4はこの章ではなく、第7章で書けばよく、また3.3.5、3.4はこの章の趣旨にそぐわない内容であり、全文削除する。	国内委員会コメント案として採用せず
40 東商	3.2	340-346	ge	SRの関心の広がっている要因の一つとして、グローバル化をあげ、グローバル化により知識、情報の収集が容易になったこと等を主な要因としている。しかし、実態は知識、情報面というよりは、グローバル化により経済を主とした社会及び環境の実態面で、各組織の活動の影響範囲が広がったことが主要因と考えられる。よって、知識、情報面を主要因的に記載しているのは不適切と考えられる。	グローバル化の要因について、内容を検討し直し、書き換える。	
44 東商	3.2	353-364	ge	組織の活動及び方針が厳しく精査される実態をもたらした直接的な原因の一つとして、政府および民間部門の役割の変化を挙げているが、直接的な原因ではないと考えられ、この文章では誤解を招く恐れがある。	この部分を全面的に削除する。	
12	4	全体	ge	文章の書きぶりがやや堅苦しく、学術的な表現になって	平易な言葉を使うことを基本とし、専門家でない	国内委員会コメント案として

1 MB = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 Type of comment: ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
東商				おり、読みやすさに欠ける。	く、素人でも素直に読める表現への見直しを行う	採用せず
13 東商	4.4, 4.6, 4.7		ge	「法の支配」「倫理的行動」「国際規範」の各原則は、広義のコンプライアンスに含まれるものであり、一つに統合した方がわかりやすいのではない。	「コンプライアンスの原則」として、ひとつの原則に統合し、レベルに応じて「法令順守」「国際規範の尊重」「倫理的行動」に記載することで簡略化を図る。	国内委員会コメント案として採用せず
14 古谷	4.5	524		「ステークホルダー」という原則は他の原則と異質であり、ここに含むのは適当ではない。	原則から削除 内容については、「7.社会的責任の実施に関するガイダンス」の章と重複するため、7.4と7.5の間に挿入。	国内委員会コメント案として採用せず（ステークホルダーコメントとして検討）
15 東商	4.8		ge	人権問題は、もっとも基本的な課題で、原則に準じた対応をすべき内容ではあるが、他の「原則」とではレベルの違う内容であるため、「原則」とするには違和感があり、「原則」からは削除すべきでない。	第4章の「原則」ではなく、第6章の中核課題にまとめる方が理解しやすく統一感があるため、第4章からは削除し、6章の人権課題のところにまとめる。	国内委員会コメント案として採用せず
16 古谷	5	604-		この章は全体として、「7.社会的責任の実施に関するガイダンス」と重複する内容もあり、わかりにくい。	「7.社会的責任の実施に関するガイダンス」の7.4と7.5の間に挿入。	国内委員会コメント案として採用せず（ステークホルダーコメントとして検討）
17 東商	5.2.1	630-634 639-642 657-662	ge	現状は読みにくく、理解しにくい文章であり、第6章との重複等があり冗長であるため、右記の骨子に従って全面的に書き換える。	Line630—634は第6章と重複するので削除。7つの各課題の詳細は第6章を参照と注記する。 Line639—642は何を言おうとしているのか意味が分からない文章であり、削除。 Line657—662はSR認識にあたっての、留意事項的位置づけの内容であり、この節の最後に留意事項として付け加える形にする。なお、この文章は非常に分かりにくいいため、平易な言葉で置き換える。	国内委員会コメント案として採用せず
18 東商	5.2.2	685-688	ge	社会的責任の影響が及ぶ範囲について、類型を明示して	この部分を削除。	国内委員会コメント案として

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
				いるが、影響範囲については、このように単純ではなく、組織によっては環境をはじめ、さまざまな影響範囲を考慮するケースがある。したがって、この類型では実態を説明しきれておらず、誤解を招く可能性がある。	また、組織の影響圏については、環境等非常に広範なものも含まれる可能性があり、各組織が与えている影響の大きさ、重要性等から対応すべき範囲を各組織が自ら判断する必要がある旨追記する。	採用せず
19 東商	5.3.2	714-718	ge	組織の中のステークホルダーについて解説しているが、組織の構成員等もSHであることは当然のことであり、あえて書く必要はないのではないか。	当該部分の削除。	
20 東商	5.3.3	751-754	ge	ステークホルダーエンゲージメントとは具体的にステークホルダーにどのように対応するか書かれていない。(専門家以外の人にも理解しやすくすることが重要である。)	エンゲージメントはSHとの「協働」であることを文頭に分かりやすく明示する。	国内委員会コメント案として採用せず
21 東商	5.3.3		ge	ステークホルダーエンゲージメントの考え方がまとまっていないためか、何を言わんとするのか、理解しにくい。文脈もなく、エンゲージメントについて思いつくままに記載されているようで、まとまりがない。	ステークホルダーエンゲージメントについて、やり方、やる上でのポイント、留意点、メリットといった内容に整理をして、簡潔に記載し直す必要がある。	国内委員会コメント案として採用せず
22 青木	6.5.4.1	1735	Te	L 1 7 3 5の「・・・基本的人権である。」の後に、「とくに近年における気候変動の激化や、急速な経済発展などに伴い、多くの発展途上国においては、水量および水質の保全が喫緊の課題となっている。」を挿入する。	(挿入部分英語仮訳案) Especially, with very rapid climate changes in recent years and with fast economic growth in developing countries, the conservation of water, both in quantity and in quality, became much more important as well as more urgent issue among them.	NGOが持ち帰り、次の3つの項目について、幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8の国内委員会で検討する。 ・ 人権と社会的責任と原則、政府の役割 ・ 環境 ・ コミュニティ
23 青木	6.5.5.2.1	1789	Te	L 1 7 8 9の「適切な排出量取引の機会を検討する」の後に、「とともに、ポスト京都についてすべての国と地域が参加できる枠組みの構築を支援する」を挿入する。	(挿入部分英語仮訳案) and encourage a new idea for the Post Kyoto framework where every country and region will be able to join.	NGOが持ち帰り、次の3つの項目について、幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再

1 MB = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 Type of comment: ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date:	Document: WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2
-------	---

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
						度整理する。7/8の国内委員会で検討する。 <ul style="list-style-type: none"> 人権と社会的責任と原則、政府の役割 環境 コミュニティ
24 古谷	6.7.1.1	1982		設計、情報提供・・・とあるが、ここは3つの内容(①製品・サービスにかかわるもの②情報提供③サポートサービスおよびリコール)を含めると想定されるが、①が限定的な記載内容のため、誤解される可能性が高い。	設計・製造・流通等製品・サービスにかかわるもの、情報提供、・・・	国内委員会コメント案として採用せず(ステークホルダーコメントとして検討)
25 古谷	6.7.1.2	1989		「持続可能な消費」における社会的責任しか説明されておらず、消費者課題と社会的責任の説明としては不完全である。	2行目「・・・持続可能な消費を刺激することができる。」の前に下記を挿入。 「消費者は組織との関係において、交渉力や情報の不均衡によるリスクや組織の個人情報の利用によるリスクにさらされていることから、消費者の権利を尊重してこれらのリスクを最小化することは組織の社会的責任の側面である。」	国内委員会コメント案として採用せず(ステークホルダーコメントとして検討)
26 古谷	6.7.2.2	2042		考慮が必要なものとして「脆弱な消費者」のみに限定することは、消費者課題と社会的責任の関係を不明確にする。組織と消費者との基本的関係をまず記載し、そのうえで特定の消費者について記載すべき。	考慮点として、「組織と消費者は基本的に交渉力や情報の不均衡の関係にある」ことの説明を挿入。	国内委員会コメント案として採用せず(ステークホルダーコメントとして検討)
27 古谷	6.7.6.1	2201		「消費者のニーズに対応」は限定的な内容のため、この消費者課題の理解が十分なされない可能性がある。	消費者の組織とのさまざまな不均衡の是正や消費者のニーズに対応	国内委員会コメント案として採用せず(ステークホルダーコメントとして検討)
28 古谷	6.7.6.1	2205		資金、資源及び時間の無駄	消費者の権利の侵害、資金、資源および時間の無駄	国内委員会コメント案として採用せず(ステークホルダーコメントとして検討)
29	7	全体	ge	WD4.2の第7章は、WD4.1の第8章から書き換えられ	基本的にはWD4.1をベースにしたものに戻し、	東商が持ち帰り、コメント

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
東商				ているが、記載内容が冗長、意味がはっきりしない抽象的な表現が増え、WD4.1 から改悪されている。 (そもそも規格の検討においては、SR を実践しようとする組織の担当者が読みやすく、この規格を読んで実際の作業内容、手順がイメージできる、理解しやすく、簡潔な内容とするよう勧めるべきであり、その意味でWD 4.1 ではWD 3 より改善が図られたが、WD4.2 では後退している。)	WD4.2 の検討を行うよりは、WD4.1 の内容を深く検討していくべきだと思われる。	#1, 3, 29, 32, 37, 40 のコメントを幹事会での議論を踏まえて 7/7 までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8 国内委員会で検討する。
30 東商	7	全体	ge	SR の実践にかかる部分をWD4.2 では第 5 章と第 7 章に分けて記載し、第 7 章は、第 5 章の内容を受けて、実践的な内容 (すなわち、「how to」を示す内容) を記載する“章”との位置づけであるはず。しかし、現状では第 7 章が実用的な内容とは言い難く、これを理解するのが難しい上、理解したとしてもすぐに実践に移せるような具体的な記載内容がほとんど盛り込まれていない。 (現状の規格を一通り読んで内容理解できるレベルになく、これを読み込んでも具体的にどのようなことを実施すればよいかまったくつかめない。)	専門家でないこの規格の使用者でもがこの章に記載した内容に従って取り組めば、実践可能になるような実用的なガイダンス内容に書き換えるべき。 実際に担当者が作業を実施するにあたり、留意すべき点やポイントに絞ってより具体的な内容に書き換える。	国内委員会コメント案として採用せず
31 東商	7	全体	ge	全般的に規格どおりに全てを行うには、大変手間とコストがかかる活動方法が述べてあり、使用者の大半と予想される中小組織に配慮した実行可能性の検討が不十分と考えられる。(現状の書き振りでは、中小組織は実行不可能と考え、前向きに取り組まなくなる可能性が高い。)	大きな組織でのみできる理想論ばかり書くのではなく、レベルを下げて実用的に書き、必要があれば、ここまでの行のが理想的である旨の追加記載を行う形に見直すべきと思われる。	国内委員会コメント案として採用せず
32 東商	7.1		ge	現状のこの節では、SR の実施にかかる組織体制について、大変冗長かつ、文脈が捉えにくく書かれているが、あまり実行にあたっての有効な内容とは思われず、全面的な書き換えを検討すべきである。	下記の内容を踏まえた文章に書き直す。 「社会的責任については、基本的責任である法の順守を超える課題についても、各組織で何らかの形で既に実施されているものもあると思われるが、このガイダンスに記載されている視点から改	東商が持ち帰り、コメント #1, 3, 29, 32, 37, 40 のコメントを幹事会での議論を踏まえて 7/7 までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8 国内委員会で検討す

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date:	Document: WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2
-------	---

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					<p>めて自組織の現状を把握し直し、既に取り組んでいる内容をブラッシュアップするとともに、取り組んでいない課題についても新たに取り組んでいくことが肝要である。</p> <p>取り組む課題については、理想を追い、網羅的なものとしたり、実践不可能な内容を織り込んで意味はなく、自組織の実情（組織の体力、体制、資源の制約、組織の理念、戦略等）を十分に踏まえて、実践可能なものを選択して、一つずつ取り組むことを目指すべきで、いわゆる「身の丈にあった」取り組みを着実に進めることが大切である。</p> <p>なお、取り組みにあたって、新たな体制を構築しなくとも既存の仕組みを活用することを基本とし、可能であれば新たな体制を築いて、さらに効果的、効果的に進めてもよい。」</p> <p>上記のような内容で記載するほか、中小組織が無理なく取り組めるよう、体制整備上の融通性を認め、弾力的運用を許容する内容を但し書き等で追記する。</p>	る。
33 東商	7.2		ge	組織と社会的責任の関係を述べている節であるが、抽象的な内容で、分析方法や、分析結果をどう活用するかもしめされていない。中途半端な内容であり、7.3に内容を統合して全面削除してもよいのではないか。	7.3と重なる内容でもあることから、「7.3.2.1の関係性の決定」に足りない部分を書き足して、7.2としては全面削除する。	国内委員会コメント案として採用せず
34 東商	7.3.1		ge	ここでは他の章との関係について書かれているだけであり、独立して「節」として書く必要のある内容ではなく、 unnecessary 文章である。	規格文章の簡潔化の観点からも、全面削除。	国内委員会コメント案として採用せず
35 古谷	7.3.2 7.3.3			この章は他の章と比べてかなり詳細であり、全体バランスが悪い。	関連性の決定、重要性の決定、優先順位の決定を統合して1つの項目に簡潔に記載。	国内委員会コメント案として採用せず（ステークホルダー

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
	7.3.4			また課題の決定や基準等についての報告の記載がないが説明責任や透明性の原則を考えると、これらの報告の記載が必要である。	記載内容のポイントとして、「課題決定の基準、取り組む課題、ステークホルダーの参画などのプロセスとこれらについての報告」を記載。	コメントとして検討)
36 東商	7.3.2		ge	上記の通り、7. 2との差異が不明確であり、7. 2の内容を統合して書く直すべき。	左記の通り、書き直す。なお、自組織の現況の把握とSR課題との関係の整理を行うための多様な視点やポイントを指摘するとともに、留意点を示し、現況把握を実施しやすくなるよう実用的な観点から書くことが不可欠である。 なお、Line2708～2726までは、内容が不明確であり、削除。	国内委員会コメント案として採用せず
37 東商	7.3.3 7.3.4		ge	重要性の決定と優先順位の確立の関係が不明確。(重要性の確定が優先順位にどう影響するかが明確にされていない。) そのため、7.3.3の節の位置づけがはっきりせず独立したひとつの節とする必要性が乏しい。 また、優先順位を決定する際の視点がいくつか挙げられているが、これを読んでも順位が決められる内容となっていない。	7.3.3を7.3.4に統合し、重要性の確定については簡潔に書くとともに、重要性のある課題については、優先順位をつける際に、どの程度留意するのかを明確に示す。 現状の7.3.4のように優先順位の確定の際の視点を並列的に挙げるだけでなく、具体的に法令順守や人権侵害は不可決のものであり、それ以外のものは、各組織の理念や戦略等に従って、着実に取り組めるもの、取り組む重要度が高いものから順位をきめる等のもう少し実務的な作業手順をイメージした書き方に変更する。 なお、SR課題の優先順位をつける際には、人的資源等の乏しい中小組織に対する配慮を明示することが重要であり、「SR課題の取り組みにおいては網羅的な取り組みを強制するものではない」こと及び、「組織の特性、実情に応じて取組課題を選択的に決定し、優先順位をつけて実施したり、段階的に実施したりすることを許容するものである」ことを追記し、明示しておくべきであ	東商が持ち帰り、コメント #1, 3, 29, 32, 37, 40のコメントを幹事会での議論を踏まえて7/7までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8国内委員会で検討する。

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
38 古谷	7.3.4	2750		すぐに解決しなければいけない理由としてはコスト面だけではない。	る。 すぐに解決しなければ、社会的影響が拡大、あるいは、著しいコストがかかる可能性があるもの	国内委員会コメント案として採用せず（ステークホルダーコメントとして検討）
39 東商	7.4.1		ge	一つの節として書くべき内容となっていない。（無駄な内容である）	全面削除。	国内委員会コメント案として採用せず（ステークホルダーコメントとして検討）
40 東商	7.4.1		ge	組織への社会的責任の統合についてポイントを絞って、簡潔に書き直す。（全体に冗長かつ抽象的で、何が書いてあるのかが理解しにくい。）	Line2774～2788の内容は不要であり削除する。 （戦略にかかる一般論を改めてここで記載する必要はない。） 「基本的には、組織にSRを統合し、効果的に実践していくことができるように、組織のリーダーによる必要性、重要性の繰り返しの説明等による奨励や率先垂範により、組織員全員への浸透、意識向上を図り、課題の実践を組織の理念、戦略、方針、意志決定等に統合し、行動規範等織り込まれるようにすることである。」 この上述のことおよび、統合するのにあてっての留意点等を簡潔に記載する内容に全面的に書き換える。	東商が持ち帰り、コメント #1, 3, 29, 32, 37, 40 のコメントを幹事会での議論を踏まえて 7/7 までに国内委員会コメント案として再度整理する。7/8 国内委員会にて検討する。
41 東商	7.4.3		ge	冗長な文章であり、意味がわかりにくい部分がある。	関心の向上とコンピテンシー確立のためのポイント、留意点を簡条書きに書き換え、わかりやすくする。 なお、Line2825～2827 および Line2833～2837 の内容は不要であり削除する。	国内委員会コメント案として採用せず
42 東商	7.4.4		ge	内容が不明確で、抽象的すぎ、実践的でない。	基本的にはWD4.1の8.4.4の内容に置き換える。（なお、8.4.4の内容について不足する部分は補足する。）	国内委員会コメント案として採用せず
43	7.5			コミュニケーションにはさまざまなタイプがあるが、こ	内容が網羅的で実践しやすいWD4.1の8.5に戻	国内委員会コメント案として

1 MB = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 Type of comment: ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of comment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
古谷				ここでは限定された情報の伝達としてのコミュニケーションしか記載していないように見え、ガイダンスとしては十分ではない。	す。	採用
44 東商	7.5		ge	コミュニケーションの内容が抽象的で分かりにくい。実用的なガイダンスとなっていない。	基本的にはWD4.1の8.5の内容に置き換える。 なお、中小組織のステークホルダーとのコミュニケーションは、中小企業の人的制約等から網羅的な対応が難しいケースが多く、全てのSHを対象としなくても、必要なSHに選択的に対応することで可であること、及び中小組織のコミュニケーション、レポート、SRの実施状況の確認等は、中小組織の特性、ステークホルダーとの関係性にも考慮し、簡便な手法、簡略化を許容することを但し書きで追記する。	国内委員会コメント案として採用せず
45 古谷	7.5.3			パフォーマンスに関するコミュニケーションが、報告書に限定されているように見えるが、広い方法を提示するほうが組織の特性に応じたコミュニケーションになるのではないかと。報告書は一例として詳細を記載しすぎないほうが良いと思われる。	WD4.1の8.5.4に記載のある「報告書、ウェブサイト、広告、ラベル、ポスターなど」の多様な方法を提示。	国内委員会コメント案として採用
46 東商	7.6		ge	使用者の大半を占める中小組織では対応しがたい内容であり、中小組織への十分な配慮を行った分かりやすく実践しやすい内容に書き換えるべきである。	信頼性の向上のためには、基本的にはSHエンゲージメントを効果的に行い、双方向のコミュニケーションにより、誠実に対応していくことで信頼を獲得していく旨を簡潔に記載すればよく、報告書についてや認証制度等について詳細にふれる必要はない。	国内委員会コメント案として採用せず
47 古谷	7.6.1			内容が報告書に偏っている。	信頼性の向上はWD4.1の8.5.5にあるように、社会的責任のコミュニケーションにおける「信頼性の向上」に戻す。	国内委員会コメント案として採用せず（ステークホルダーコメントとして検討）
48 東商	7.7		ge	内容詳細、専門的すぎ他の節とのバランスが悪い。また、この内容を使用者の大半を占める中小組織には対応しがたいものである。	他のイニシアチブの利用を半ば強制するような書きぶりを変え、簡潔にポイントを絞って書けばよく、内容的にはWD4.1の8.6の内容に置き換	国内委員会コメント案として採用せず

1 MB = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: I = Industry, G = Government, C = Consumer, L = Labour, NGO = Non-governmental organization, SSRO = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 Type of comment: ge = general te = technical ed = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB ¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment ²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted
					えればよいと思われる。	
49 古谷	7.7			他の章と比べて分量が多く、記載も報告書に偏っている。	WD4.1の8.6「社会的責任の活動の吟味」に戻す。	国内委員会コメント案として採用せず（ステークホルダーコメントとして検討）
50 東商		Figure2	ge	図示された内容は、「企業寄り」の内容であること、およびSRの影響範囲を正しく示していない。	SRの影響範囲を誤解させかねないことから、図表は挿入しない。	国内委員会コメント案として採用せず
51 東商		Figure3	ge	7つ課題を図示しているが、この図表では、各課題に係り性があるように理解される恐れがある。 そもそも各課題にはそれぞれ関係があるものではないため、関係性を示すような図表を挿入すること自体、誤解を招きかねない。	図表は挿入しない。	国内委員会コメント案として採用せず

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.

Template for comments and secretariat observations

Date: _____ Document: **WG SR N 143, Working Draft 26000.4.2**

1	2	(3)	4	5	(6)	(7)
MB¹	Clause No./ Subclause No./ Annex (e.g. 3.1)	Line number/ Figure/ Table/Note (e.g. Table 1)	Type of com- ment²	Comment (justification for change) by the MB	Proposed change by the MB	Secretariat observations on each comment submitted

1 **MB** = Member body + Stakeholder Category (enter the ISO 3166 two-letter country code, e.g. CN for China + e.g. C for consumers = CN-C) or name of D-liaison organisation + Stakeholder category.

Stakeholder category: **I** = Industry, **G** = Government, **C** = Consumer, **L** = Labour, **NGO** = Non-governmental organization, **SSRO** = Service, Support, Research and Others

All = Consensus within all stakeholder groups

2 **Type of comment:** **ge** = general **te** = technical **ed** = editorial

NOTE Columns 1, 2, 4, 5 are compulsory.